



## ◇ 今回は東京大学の三宅彩香さん（文学部国文学専修在籍）の報告です。

今回は、東京大学文学部の三宅彩香さんの登場です。高校時代から得意であった英語をさらに鍛え、大学在学中に TOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）のスコアで満点をとるなど、英語力に磨きをかけました。専攻は国文学（藤原定家の研究）。4年間、女子バレー部に所属し活動を続け、来春よりは大手損保会社への就職が決定。

以下、卒論で多忙を極める中、後輩のみなさんに寄せたメッセージです。

### 東大女子バレー部と私の大学生活

東京大学文学部言語文化学科国文学専修 4 年 三宅彩香

関高校の卒業生のひとりとして、私の大学生活をご紹介できればと思います。どちらかというとも平凡な学生生活ですが、少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

私の大学生活の最も大きな部分を占めたのは、間違いなく部活動だと思います。

もともと中学でバレー部に所属していましたが、高校では様々な事情が重なりバレー部への入部を断念したという経緯がありました。しかし、球技大会や体育の授業でバレーボールをするのがやっぱり楽しくて、大学に入ったらまたバレーをしたいな、くらいに漠然と考えていました。

大学に入学した当初は、予想以上にサークルが多く、勧誘活動も活発で、どのサークルに入ろうか迷っていました。そのなかで、私は受験勉強など何か目標に向かって頑張ることに強くやりがいを感じる性格なので、部活が向いているのではないかと考え始めました。

実際に見学に行ってみたところ、体育会ということもあり明るい先輩方が多く、そして「東京大学」の名を背負ってプレーすることに憧れを抱いたこともあり、入部を決めました。

わざわざ特に強くもない大学で部活動をすることに、意味はあるのかと考える人もいるかもしれませんが、しかし、3年半の活動をやり切って引退した今、部活を選んでよかったと胸を張って言えます。



まず、大学の部活動では、（プロ選手を輩出するような強豪校を除いて）運営が基本的に部員主体です。東大バレー部では、スタッフや練習メニューを決めること、練習試合を申し込むこと、OB・OG への連絡や SNS 等の運営、会計の仕事など、全てを部員が分担して行います。そのため、特に最上級生の負担は予想以上でしたが、部全体のことを考え、悩み、結果を出すために試行錯誤を重ねた経験は、必ず社会でも役に立つと思っています。



また、私たちの部はOB・OGとのつながりが強いです。「赤門クラブ」という名で、部費のサポートをはじめ、試合の応援に来ていただいたり、練習を手伝っていただいたりするなど、非常にお世話になりました。そのなかで多くの先輩方（皆様各方面で活躍されています）と様々なお話をすることもでき、大変貴重な経験になりました。今後はわたしもOGのひとりとして、部

を応援したいと思います。

ある程度大学の部活動特有のことばかりお伝えしましたが、もちろん部活動を通してチーム一丸となり、勝つために最大限の努力をする、ということは何歳になっても楽しく、やりがいのあることです。本当に充実した3年半を過ごすことができました。

せっかくなので、学業の方についても少しご紹介したいと思います。

私は、現在文学部の国文学専修に所属し、主に日本の中世文学を中心に研究しています。私が日本文学、特に古典を専門にしたいと考えたきっかけは、小学生まで遡ります。自由研究でなんとなく百人一首を調べてみたところ、和歌や古典の世界の奥深さに感動し、以来ずっと国語の授業が一番好きでした。東大を志望した理由も、せっかくなら日本で一番いい環境で好きなことを学んでみたいと思ったからです。そして、大学のパンフレットを取り寄せたとき、壁がほとんど全部本で囲まれた国文学研究室の写真を見て、ここに行ってみたい！と思いました。

そのまま念願の文学部に進学し、卒業論文は百人一首の撰者であるといわれている、藤原定家を扱うことに決めました。定家の後期の和歌について、本歌取りを中心に分析し、彼が和歌の中でどんな世界を表現したのかということについて、自分なりに考えをまとめようと格闘しています。

現在卒論を書いている最中ですが、今さらながら大学の「いい環境」を実感しています。教授はもちろん、先輩や同期、後輩も優秀な人が多く、助けられることが多いです。また、欲しい資料も大学内にかなり豊富にそろっています。どちらかといえば部活動に重きを置いた大学生活でしたが、よき師、よき友に囲まれ、恵まれた環境の中で、好きな古典文学の研究にうち込むことができ、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業後は、某大手損害保険会社に就職することになりました。就職活動中も、部活動の話や大学受験の話に大変興味を持っていただき、なんとか内定をいただくことができました。不安も大きいですが、来年から大きく環境が変わることにわくわくしています。

大学へ行くと、予想以上にたくさんの選択肢があることに驚くかと思います。そこで自分の可能性を決めつけるのはあまりにももったいないので、ぜひ色々なことに挑戦してみてください。ただ、それらを漠然とやるのではなく、一つ一つに全力でぶつかってほしいと思います。大学生活は、きっと忙しすぎるくらいがちょうどいいです。充実した大学生活を夢見て、受験勉強など頑張ってください。応援しています！